藤沢
エコネット

２０１３年５月１日
第２２８号

藤沢環境運動市民連絡会議
（略称）藤沢エコネット

主記事
・第２回リフレッシュ参加者からの感想
・モニタリングポストはインチキか？続き
・武田問題安全調査報告・放射能測定値
・映画「モンサントの不自然なたべもの」

http://members3.jcom.home.ne.jp/fujisawa_econet/
事務局　〒252-0816 藤沢市遠藤 849-9 青柳
☎／ＦＡＸ　0466－87－4922
e-mail: aoyagipc@jcom.home.ne.jp

原発被害救済のために　―西尾正道先生の提言―

2012年11月２３日、東大TGF（東京大学原発災害支援フォーラム）の影浦教授主催で西尾正道先生の講演会が開催された。この講演会には、大学関係者、研究者、医師、弁護士、市民活動のリーダー的な存在の方々に多数お集りいただいた。動画配信はしなかったが、大変好評で、終了後も参加者が会場に残り続け、最後には、追い出すような形で会場を出ていただいたのだった。

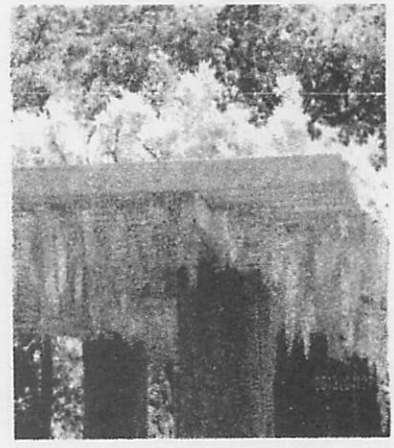
この講演会を契機に都内やホットスポットでの西尾先生の講演が続き、さらにいくつかの動きが作られていった。そのひとつが西尾先生からの要望書提出であった。

2013年２月１日、内閣総理大臣、復興大臣、環境大臣、厚生労働大臣へ提出された要望書の骨子を紹介する。要請の一つ目の「被爆検査健康手帳」の配布は汚染地に暮らすすべての人々へ配布されるべきだと思う。藤沢市もその中に入ると考えている。西尾先生はその後、福島県内各地で講演活動と甲状腺検査を開始し、さらにホットスポットでも検査を開始される予定で、退職されてますます多忙な日々を過ごされている。５月１１日には藤沢にある日大生物資源科学部で講演会が開催される。

要望書骨子

1・被曝検査無料の【被曝検査健康手帳】（仮称）を配布し、全国で無料受診できる体制を整えること。
2・「被曝検査健康手帳」を渡されていない段階の「被曝検査」に関する診療報酬の扱いの統一。
3・甲状腺検査現場で画像データのコピーを子供の保護者に必ず渡すこと。
4・甲状腺機能の検査として、血液によるT3, T4, TSHのチェックを行うこと。
5・「被曝に関する被験者の診療記録」は、例外的に画像を含め今後50年間の保存義務とすること。
6.・原発事故の収拾にあたる作業員を含め、被曝線量が高かった人（定義が必要）に、希望があれば、「検査」を行うように行政指導すること。
7・内部被曝の検査においては、ホールボディーカウンタより数十倍精度の高い尿による内部被曝検査ができる体制を構築すること。
8・年間　5 mSv 以上は強制移住とし、年間 1～5mSv の住民には移住権利を与えること。
9・ナショナル被曝医療センターを作ること。あらゆる核種が検出できる計測技術の整備が必要である。また被曝者が死亡した場合本人・家族の要望があれば臓器の被曝線量の測定できる医療機関を設置すること。
10・以上のことを成し遂げるため、厚生労働省に原発被害の責任部署を置くことを要請する。

（須藤百合子）



フジ（湘南台公園）

モニタリングポストはインチキか？ 4月号のつづき
～似顔絵描き　太めのリリー様より投稿～

放射線量の報道・衣類からの被曝について

■放射線量の報道

前回、モニタリングポストはその場所での放射線量の変化を見るためのものと説明しましたが、4月1日に福島県は継続測定に適応した場所と形式を整えるためとして場所を移動しました。これで、いくつかの数値は半減して継続性に疑問を持たれる結果になっています。この経過を公表しているので何かの企みというわけではありませんが残念です。

また前回、その数値を「気温か何かのように報道している」と書きましたが最近では集会所の入り口・部屋中央・窓際など詳細に計測された数値も順番に掲載されています。情報提供は丁寧になっていると感じます。

■内部被曝について

不勉強ですが、内部被曝の場合、一度崩壊した放射性物質が安定した元素になるまでさらに崩壊することも考えないといけないんじゃないかと思うのです。これについてはもう少し調べます。

■衣類からの被曝について

1：吉田さんが発表された中で衣類からも大変な被曝をしていると言うのがありましたが、この計測器に問題があるという情報もあります。
また、セシウムの検出は計測データに3つの山が出て初めて確認されるものなのですが、吉田さんのデータにはそれがなく、セシウムの検出ということに疑問があります。

2：また、ベクレルは「1kgあたりの値」ですが、それを「シャツ1枚あたり」と換算されているのも間違いだと思います。

「モンサントの不自然なたべもの」

神奈川県母親大会（4月20日）での映画上映で市民会館大ホールが満席であった。

いま、ＴＰＰ交渉参加が日本政府によって表明されるなどの背景もあり、このドキュメンタリー映画はとてもタイムリーな内容であった。上映は大会場で白抜きの字訳が読みきれず残念であったが、フランス語が解る方は画像もよく、分かりやすい内容であったと思う。

フランスのジャーナリストのマリーさんは多国籍企業「モンサント社」をインターネットを使って情報を集め、アメリカ、インド、パラグアイなど現地に赴き、証言を集めた。

「1ドルたりとも、儲けを失ってはならない」その企業体質は世界の胃袋を握ること―それがモンサントのビジネス戦略である。

世界の遺伝子組み換え作物市場の 90％を誇るグローバル企業の、クリーンなイメージに隠された　裏の姿は、遺伝子組み換え作物から、過去に発売された枯葉剤、農薬、ＰＣＢ、牛成長ホルモンなどモンサント社の貴重な証言や機密文書によって検証していく。ＰＣＢ汚染で両手のない女の子の映像や、ベトナム戦争時の枯れ葉剤で標本になった奇形胎児の映像はショッキングであった。

生物の根幹である「タネ」を支配し利益ばかりを追求する現在の「食」の経済構造。「世界の食料支配、それはどんな爆弾より脅威である…」と語られていた。

フランスでは、遺伝子組み換え食品が禁止されていて、キチンと料理をして良い食生活を送ることに重きを置き、遺伝子組み換え作物のように、正しくテストされていないものは食卓に取り入れたくないようだ。「不自然な食べもの（遺伝子組み換え作物）」が環境、人体に与える影響は誰にも分かない。それは、まるで目に見えない放射能のようである。

毎日の食物は生き方を選ぶこと。そして、知ることで守れる未来があることにつながる。

（日比遥）

2013春ふくしまっ子リフレッシュ in 湘南
参加者　アンケート結果(回収率 80%)

たくさんの思いと感想を寄せて下さいました

1.保養内容について　(3／27～3／31　4泊5日)

■期間　**・ちょうどよい7**　・やや短い1
（こどもの国1泊　湘南3泊がよい）

■宿泊施設

「こどもの国」・やや満足2　**・普通5**　・やや不満1
（風呂がぬるい　かぎがかからない　スリッパがない　毛布だけでは寒い）

「女性センター」　・満足2　・やや満足2　**・普通3**　・やや不満1　（家族単位だったので、体も心もゆっくりできた）

■スケジュール　自由時間がほしい　疲れたときのは交流会は難しい

■今後も「リフレッシュ in 湘南」に参加したいですか？
・　参加したい1　**・わからない 7**　・したくない

2.その他、お気づきになった点、感想などをご自由にご記入ください。

・参加者の名簿があるとお互いの名前を早く知ることができる。
・こどもの国の1日目のメニューは揚げ物が多く、残飯も多くもったいなかった。
・バーベキューは寒かったが、早く部屋へもどれなかった。　・自由時間があってよかった
・こどもの国で遊ぶ時間が少ない。
・子どもの国で男手(荷物運搬など)の不足
・こどもの国では大人は付き添ってみているので、親子一緒に遊べるところがあればよい
・こどもの国のベッド(2段の上)はおとなには疲れる
・電車での移動は慣れていないため疲れる
・新幹線の移動はよかった
・江の電の駅までの地図を明確に
・女性センター～駅までの距離で子どもは疲れる
・保養場所を同じにしてほしい
・大人のリフレッシュができない
・マッサージしていただいてよかった
・水族館での昼食は完全自由の方がよかった。
・1日目の交流会は移動日だったため、大変だった
・子どもの国の床が冷たい、持ち物にスリッパ、シャンプー、リンスなどを記入してほしい。
・スケジュール表をもっと明確にしてほしい
・日程に時間を入れてほしい。

武田薬品―外部機関による安全調査報告について　―武田問題対策連絡会―

リスクアセスメント全般を通じての外部専門機関が武田薬品に対して行った評価は、基本的には、事故後に行った対策を評価した報告書となっており、武田研究所は他社の研究開発設備と比較をしても最先端の仕様となっており、国際的な他の製薬、化学メーカーと比較しても管理レベルは高い、と持ち上げた評価となっている。

個別の指摘事項と武田薬品の対策では、研究所全体の設備機器の改善、コミュニケーションの見直し、滅菌システム機器では、２重に温度や圧力計などの計測器を用いて制御改善をおこなう等など多くの改善・見直しが指摘され、対策をとった。

２月８日の当会への説明会で明らかになった事項。

①、遺伝子組換え実験では９割の人は、室内にオートクレーブが設置してある実験室で遺伝子組換え実験に従事している。残りの１割の人が１回１０L、２０Lの大量のタンパク質合成の遺伝子組換え実験に従事し、これらの人々が流しから集中滅菌室に廃液を流している。どうして室内のオートクレーブが設置できないのか疑問。

②、国立感染研の新井博士の、場所的、時間的、実験者の責任の観点から実験室内で滅菌すべきだと言う指摘に対し、室内に１０～２０Lのオートクレーブを置いて滅菌するより、集中滅菌室に流して滅菌する方が、安定性が高いと判断して集中滅菌方式を採用した。(武田の判断でやったとのこと、文科省も認めており違法性は無いとの回答)

③、配管図面は企業機密だから出せないの一点張り。配管のエヤー抜きは縦管の上部にヘパフィルターを付け屋上に設置。配管のメンテ（すり減り、スケール付着、漏れ）のやり方については、３月中に方針を出す予定とのこと。以下省略。

対策会議は４月１５日公開質問状を提出した。

①外部調査実施会社はどこか？②漏洩事故に対する対策は適切か③比較する企業名、根拠を示さず武田の管理レベルは、国際的に高いとどうして結論づけられるのか④、集中滅菌方式は、一般的事例なのか、具体的な事例、法令、指針等を挙げて説明して欲しい。また、本当に安全なのか、科学的に証明してほしい等 10 項目。

放射能測定値

空間線量の比較

★南相馬市では　（市広報より）

地上 1m 地点(3月) 単位 μSv/h

南相馬市役所	0.33
なかまち保育園	0.12
原町第1小学校	0.09
小高小学校	0.32
片倉公会堂	0.67
ドライブイン大原	1.83

★藤沢市では(藤沢市測定３月)

高砂保育園	0.03
長久保公園	0.03
明治小学校	0.04
秋葉台公園	0.05

第３回ふくしまっ子リフレッシュ　に向けて　ーご支援のお願いー

第３回ふくしまっ子リフレッシュ in 湘南が８月１日～４日に決まりました。

年間１ミリシーベルトを超える地域で暮らす福島の子ども達にとって、１日でも多く放射能を気にせずに過ごす日々が必要です。この春湘南に来た子ども達は、昨年夏の子ども達より体力が落ちているようでした。

福島の子どもたちとともに・湘南の会では、資金面で不安を抱えながらも、年２回春と夏の企画を実施する事に決めました。どうぞ皆さまからのご寄付、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

６月 12 日(水)18：30 に、茅ヶ崎市民文化会館で東日本大震災支援チャリティーコンサート「加藤登紀子コンサート 2013」が開催されます。当会を含め 15 団体に収益は使われます。是非こちらへも足を運んでくださるよう、ご案内致します。当会を通し、チケット（5500 円、学生 1000 円）をお求めくださるよう、お願致します。　（事務局長　青柳節子）

ECONET INFORMATION

放射性物質による健康被害について学ぶ

講師　西尾正道先生（元北海道がんセンター院長）

「放射能とからだ～甲状腺異常をはじめとする内部被爆について」　・情報交換等

５月１１日（土）10:00-日本大学本館６４講義室

主催：日大 生物環境工学科　無料

協力：福島の子どもたちとともに・湘南の会

同日、同内容で　14:00～　カトリック茅ヶ崎教会（茅ヶ崎駅から７分）でも実施

「みずのほし・みずのはなし」

講師　橋本淳司（ジャーナリスト）

６月１日（土）13:30～　市役所第３庁舎会議室

主催／申込み　藤沢市石けん推進協議会 35-9860

NO　NUKES　DAY（ノー　ニュークスディ）

６月２日（日）13:00-　芝公園 23 号地

主催　さよなら原発 1000 万人アクション実行委員会

藤沢エコネットから

藤沢エコネット総会

５月１５日（水）14:00-　推進センターにて

①学習会「まちづくりと公共交通」

②総会　１２年度のまとめ、１３年度方針等

どなたでも参加できます（無料）

会費・購読料の納入お願い致します

ゆうちょ銀行　(9900)　店番　(029)

当座預金 0046501 ﾌｼﾞｻﾜｴｺﾈｯﾄ

（従来の振込方法も利用できます）

会員募集＝年会費・購読料→３０００円

前号 227 号に誤りがあり訂正しお詫び申し上げます。３ページ本文４行目「高線量の「黒い物質が出ていた頃です。その時…」→「以前にも一度、東京で伺った事がありました。そのときも感じたのですが…」とします。

事務局会議　５月９日（木）15:00～　市民活動推進センター

《編集後記》　神奈川新聞が藤沢市の放射能汚染焼却灰を希釈・再利用する計画を報道以来、NHK で取り上げられる等、物議を醸している。本来放射性物質は閉じ込める・遮蔽するが基本だが、拡散するとは！　(A)